

もの作り大学で

2年生は秋に「トライやるウィーク」(職業体験プログラム)を控えており、その準備の一環として姫路市の「兵庫県立ものづくり大学校」を訪ね、もの作りについて学んできました。



いざ出発! (2号車)

朝の7:00に学校集合。弁当づくり等、ご家庭には大変ご迷惑をおかけしました。生徒たちはというと遅刻者もほとんどおらず、眠そうな顔をした者も見かけません。「基本的な生活習慣」がしっかり根付いていることが改めて確認できました。

中学を出て仕事に就くにしろ進学するにしろ、「時間を守る」というのはその道へ進むための第一関門であることを生徒たちに認識させたいと思います。

中国道を通って約1時間半の道のりを和やかに移動していると、市川(いちかわ)を通ったあたりでいま話題の姫路城が正面に見えた(そうです)。※(-_-)私は睡眠中で分かりませんでしたけど...



予定通り9時に到着。セレモニーのあと2班に分か



れて1つは映像で事前学習、もう一方は1Fのものづくりに関する展示スペースを職員の方々に案内していただきました。

この施設は「ものづくり」を銘打っているだけあって、普通は隠されているようなところもシースルーにしてその構造がよく分かるようにしてあったり、館内の何気ない案内や表示にもおしゃれな工夫が施されていてテーマパークを訪れているような楽しみも味わえます。



消火栓



材料となる木の種類



手すりにもひと工夫が

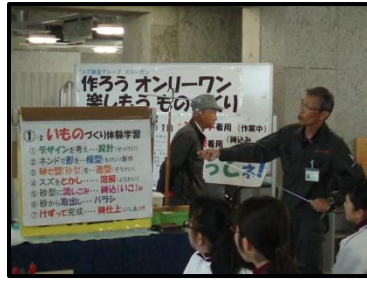


鉄製の手作り表示

10:20からは各パートに分かれての実習。以下、その様子をお伝えします。



フリーラック 講師紹介



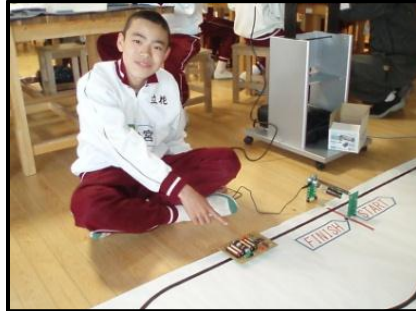
すずの鑄造オブジェ



ライトレースカー



どや顔① フリーラック



②ライトレースカー



③ハーフパンツ



安心紙コップホルダー



講師を囲んで昼食



「君たち、よく似とるねえ」



約3時間かけてみっちり制作実習。マンツーマンとまではいきませんが講師の数も十分で、正直傍目には「この子たちにこんなものが作れるのか?」と思われたものもあら不思議、ちゃんと仕上がりました。生徒たちの取り組む姿勢も良かったけれど、それを十分引き出してくれた講師の方々の指導力に感服させられました。

今日作品を持って帰らせますので、それを見ながら制作過程やにわか仕込みのうんちくを聞いてやってください。なお、横断幕は近々校内に掲示しますので来校の際にご覧いただくとして、今回は写真でご勘弁ください。

